

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」高井田駅前校			
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 15日 ~ 令和7年 12月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	8
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 15日 ~ 令和7年 12月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 15日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者から主訴や利用者の現状をしっかりと聞き取りし、アセスメントを行うことで、より利用者の現状を把握した上で支援を行うことができる。</li> <li>・保護者や利用者からの希望や、利用者のその日の様子に合わせて臨機応変に支援内容を変更することができる。</li> </ul>	利用者の保育園等、集団での様子が見えにくいことから、定期的に小集団での療育を行うことで、同年代や家族以外の他者との関わり方のアセスメントを行っていく。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団での利用者の様子の把握が難しい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に個別療育を行っており、集団での利用者の様子を見る機会が少ないため</li> </ul>	・小集団療育などを定期的に行ったり、保護者や相談支援事業所、他事業所などから利用者の様子を聞き取りしたりすることで、集団での利用者の様子の理解に務める。
2			
3			

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		保護者等からの事業所評価の集計結果								
		公表日 2026年 2月 14日								
		利用児童数			9		回収数		8	
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	はい 7	どちらともいえない 1	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8							
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8							
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8							
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8							
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8							
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8							
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8							
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8							
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	1						
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	4		1	3				
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8							
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	1						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1	1	3				
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7	1						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	1						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8							
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5		2	1				
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	2		1				

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思われますか。	8					
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7			1		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8					
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			1		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1		4		
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7			1		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6			2		
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	8					
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	8					
	29 事業所の支援に満足していますか。	8					

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」高井田駅前校				
						公表日 2025年2月14日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			人員配置上は問題なく配置ができている。一方で、利用者や保護者対応などで、一時的に職員室が不在になる時もあるため、今後人員の増加を予定している。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		未就学児など、支援や配慮が必要な利用者には、職員が付き添い、声掛けを行っている。	事業所内の通路と洗面所やトイレのドアには段差があり、スペースの問題もありバリアフリー化はできていない。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		午前中の利用が無い曜日などポイントを絞って清掃活動に取り組んでいる。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別療育を行っているため、利用者の特性を踏まえて、個別の部屋を使用しながら、支援を行っている。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		虐待防止や感染症対策など、義務化されている法定研修の実施以外でも、発達研究所とも連携しながら、特性の理解や支援の質の向上に努めている。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		支援の前後のアセスメントや、事業所内相談支援を定期的に行いながら、保護者のニーズや利用者の課題にあわせて児童発達支援計画を作成している。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画の作成時には、担当の職員と会議を毎回行いながら、利用者の現在の様子や今後の課題などを共有しながら、計画の作成を行っている。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		小集団での支援時や、担当指導員からの相談があった場合には、適宜支援プログラムの立案をチームで行っている。	個別の支援の場合には、保護者の主訴と、利用者の様子をみながら担当が支援プログラムを行っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○				

	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		<input type="radio"/>	緊急時以外は、基本的には職員朝礼で、情報の共有を行っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		支援の担当者または、児童発達支援管理責任者が会議に参加している。	相談支援事業所から提案があった場合には参加している。日程の都合がつかない場合には、事業所の様子を文章で回答している。
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		保護者または相談支援事業所からの要望があれば随時行っている。	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		保護者または相談支援事業所からの要望があれば随時行っている。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		保護者または相談支援事業所からの要望があれば随時行っている。	
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		<input type="radio"/>		保護者からの個別療育へのニーズが高いため、現状では取り組めていない。
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		支援後のフィードバックや、事業所内相談を通じて共通理解を図っている。	自力通所する利用者もいるため、保護者との共通理解の頻度は、利用者ごとに異なる。
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>			
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		初回利用・契約時に説明を行う他、保護者からの質問があった場合には適宜回答を行っている。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		不定期ではあるが、ママカフェなどのイベントを行い、交流ができるように取り組んでいる。	家庭環境や、ライフスタイルによって、全ての家庭に対して交流する機会を設けることは難しい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあつた場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に對して発信しているか。	<input type="radio"/>		インスタグラム等のツールを使って、療育用教材や、職員紹介などの発信を適宜行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>		保護者からの個別療育へのニーズが高いため、現状では取り組めていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		<input type="radio"/>		基本的には支援中に飲食を行うことがない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>			